

### 牛久シャトーの沿革

- 1898年 神谷葡萄園を開墾し苗木6,000本を植え付ける
- 1903年 赤レンガ造りの牛久醸造場が完成
- 2003年 100周年
- 2007年 近代産業遺産に指定
- 2008年 国指定重要文化財に指定
- 2011年 東日本大震災発生により被災  
修復工事始まる（修復工事期間：平成23年12月9日～平成28年3月30日）  
修復工事総額 1,451,568,140円  
（オエノンHD負担あり）
- 国補助金 991,654,000円
- 県補助金 134,178,000円
- 市補助金 100,000,000円
- 2016年 修復工事完了
- 2018年 日本遺産申請したが惜しくも落選  
12月28日 業績悪化により飲食・物販事業からの撤退

### 国指定重要文化財



旧事務室



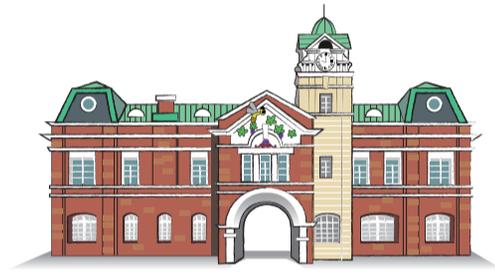
旧醜酵室



旧貯蔵庫

## 「牛久シャトー」事業の継続を望む声広がる

**牛久シャトーの「これまで」**  
牛久シャトーは実業家の神谷傳兵衛が日本初の本格的ワイン醸造施設として創業しました。ブドウの栽培から瓶詰めまでを一貫して行う製造体制を敷き、日本のワイン文化黎明を支えてきました。牛久市にとっても年間約40万人が訪れる市内屈指の観光地であり、市民に長く親しまれてきた牛久シャトー。市のランドマークとして観光振興のみならず、文化的活動の役割も果たしてきました。



**牛久シャトーの「これから」**  
牛久シャトーを所有するオエノンホールディングスが、グループ会社の合同酒精が展開するシャトーの業績悪化のため、園内での飲食と物販事業から撤退しました。国の重要文化財に指定されている「旧醸造施設3棟」など園内の施設については、引き続き同社が管理し、今後施設の活用法などを検討していくことになっていきます。市としてもできる限りの支援を行い、市民から寄せられた2万人分及以上の嘆願書の思いを形にしていくよう取り組んでいくこととしています。

### 市の支援、イベント

#### ワインまつり（平成30年10月27日、28日開催）

毎年開催されている牛久シャトー主催のワインイベントで、ワインまつり開催の時期にしか味わえない「にがりワイン」を含め、10種以上のワインや自慢のクラフトビール、フードメニューを取り揃え、吹奏楽演奏やステージイベントが開催されています。

#### プロジェクションマッピング（平成29年3月10日開催）

牛久市初の大規模3Dプロジェクションマッピングを実施することで、重要文化財の活用を図ると同時に「ワインの街うしく」の魅力を市内外に発信しました。また、牛久シャトー旧醸造場施設を核とする日本の近代化と国産ワインをテーマにした日本遺産認定への取り組みを広くアピールすることも目的として開催しました。

#### ホワイトパーティー

日本遺産登録を目指す牛久シャトーを舞台として「ワインと食の観光振興」をテーマに、牛久市の魅力を広く発信したいとの思いからPRムービー「Welcome to White Party」を制作しました。

#### オエノンミュージアム

牛久シャトー園内にある施設で、オエノンホールディングスの歴史資料を展示紹介しています。市の史料展等も開催しています。

#### うしくピザフェスタ（平成30年3月11日開催）

牛久シャトー、市役所近隣公園において、約200人が牛久大仏の高さにちなんだ長さ120mのピザ作りに挑戦しました。121.9mのピザが完成し、日本一ネットから「日本一認定証」が授与されました。

牛久市議会では、牛久シャトーの飲食事業と物販事業の継続に向けて、市が可能な限りの支援策を講じるよう求める決議をしました。

#### 本市の観光振興に関する決議

本年11月1日、新聞紙上に、突然、「牛久シャトーが本年末で飲食事業と物販事業から撤退する」との記事が掲載された。

市長は、「牛久シャトーが本市の観光拠点の一つであるだけに、市民の思いをしっかりと伝える」とコメントしているが、牛久シャトーは年間40万人が訪れる本市屈指の観光スポットであり、牛久シャトーの飲食事業と物販事業からの撤退は、観光客の激減は勿論のこと、本市の経済や活力の低下を招来することは必定である。

従って、今回の牛久シャトーの飲食事業と物販事業からの撤退を一民間企業の問題と片付けるのではなく、本市の観光振興の観点から捉え、飲食事業と物販事業の継続と復活に向けて、本市が可能な限りの支援策を講じるべきと判断する。

以上、決議する。

平成30年12月20日

牛久市議会

# 平成29年度議会報告会での「意見」への回答

## 総務常任委員会

**意見** 防犯カメラの早期設置をお願いします。報道等で予期せぬ犯罪が多発しています。一市民が巻き込まれる時の早期解決として必要です。主要交差点をお願いします。

**回答** 防犯カメラの設置につきましては、平成28年度は牛久駅東口交差点に設置済みです。

**意見** 平成29年度は、刈谷大橋交差点及びひたち野東交差点に設置済みです。

**回答** 平成30年度以降は、小坂団地内交差点、ひたち野西2丁目交差点、みどり野郵便局側交差点、向台小入口交差点、柏田大橋東交差点、ひたち野東3丁目交差点に設置済みです。

**意見** 防災無線が全く聞こえません。改善を要望します。「南5丁目」

**回答** 防災無線につきましては、担当の交通安全課までご連絡いただければ、具体的な場所等詳細を伺い、対応いたします。

**意見** なお、下記の番号へ電話すると、防災無線の内容が確認できます。

テレホンサービス  
0120-506-706 (無料)



防犯カメラ

## 教育民生常任委員会

**意見** 牛久運動公園に建設中の武道館の進捗状況を知りたい。

**回答** 2019年開催のいばらき国体・空手道競技開催地として施設整備が進められている武道館。現在3月完成を目指して急ピッチで工事が進められています。4月1日から一般に供用が開始される予定。施設は、主道場が公式サイズで3面確保され、可動式の観客席が156席となっています。総工費は7億4千万円を見込み、災害時には福祉避難所として利用する予定です。

**意見** 認知症ボランティア・サポーターを増加させる政策の促進を。

**回答** 牛久市では社会福祉協議会が中心となっており、多くの行政区で認知症サポート養成講座を開催するなど県内一の取り組みとなっています。オレンジカフェ（認知症カフェ）も毎月開催され、本人・家族・一般の方々への憩いの場、交流の場となっています。

**意見** ター養成講座を開催するなど県内一の取り組みとなっています。

**回答** オレンジカフェ（認知症カフェ）も毎月開催され、本人・家族・一般の方々への憩いの場、交流の場となっています。



武道館の完成予想図

## 産業建設常任委員会

**意見** エスカード牛久ビル2、3階の早急な有効利用について、恒久対策（テナント等）は時間がかかる。その間、市民にとって（高校生、お年寄り、若い母親など）ちょっとした「たまり場」「学習空間」「人と人とのコミュニティ空間」となるエリア（テーブルと椅子を置くだけ）を早急に創っていただきたい。

**回答** 1階部分については、コミュニティ空間としての利用が可能な環境を備えておりますが、2階、3階についてもそのような空間として利用できるよう市担当課へ要望しています。

**意見** 歩道の整備をお願いしたい。（タイルのはがれなど）

**回答** タイルのはがれた部分を補修するよう市担当課へ要望しています。

**意見** 東口のバス専用降車場の設置を。現状は循環バスを降り、JRへの乗降、病院バスへの乗り継ぎが高齢者また通院者にとって難儀しているので改善を。※つくば駅のバスターミナル、土浦駅のバスターミナルを参考にしてください。

**回答** JRの乗降後、病院バスへの乗り継ぎが円滑にできるよう市担当課へ要望しています。

**意見** JRの乗降後、病院バスへの乗り継ぎが円滑にできるよう市担当課へ要望しています。

**回答** JRの乗降後、病院バスへの乗り継ぎが円滑にできるよう市担当課へ要望しています。

**意見** JRの乗降後、病院バスへの乗り継ぎが円滑にできるよう市担当課へ要望しています。

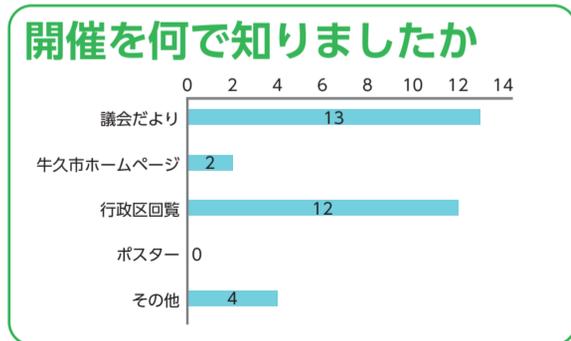
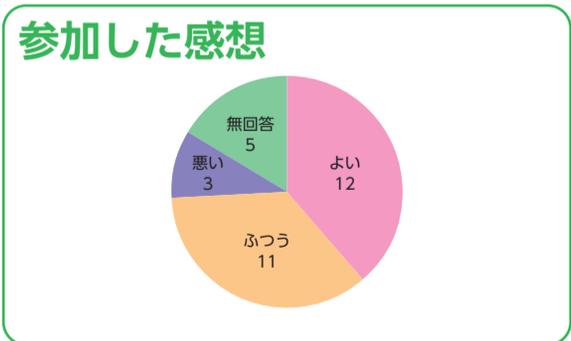
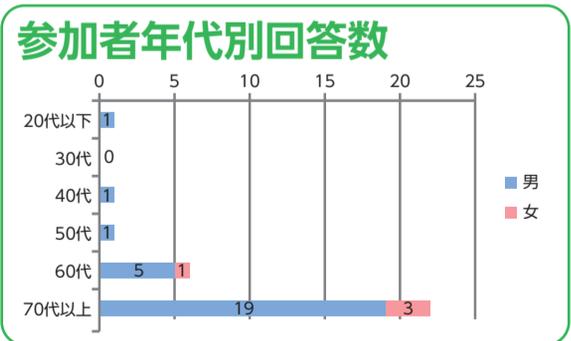
**回答** JRの乗降後、病院バスへの乗り継ぎが円滑にできるよう市担当課へ要望しています。



エスカード牛久ビル2階

## 平成30年度議会報告会のアンケートから

参加者35名・回収数31枚・回収率89%



(重複回答あり)

### アンケートの内容

- 第1部の各委員会の持ち時間を(20分)をもう少し長くした方が良いと感じました。公共交通について、高齢者の病院へのタクシー料金を下げることを考えてください。
- 若年層の出席が少ないので、出席しやすくしてほしい。
- 牛久市議会だよりを広報うしくと同じサイズにしてください。
- エスカード牛久ビルの再開発、活用の進捗報告をきめ細かに市民に伝えてほしい。現状がよくわからない。
- ふるさと納税、魅力ある物品・内容にしてほしい。
- 資料がオールカラーとなり見やすくなりました。

総務常任委員会

【今回のテーマ】

地域公共交通

コミュニティバスは現在8路線運行しており、ひたち野うしくに1路線を検討しています。デマンド交通の導入や近隣市町村とのコミュニティバスの相互乗り入れについて、議会でも取り上げていきます。

防災・防犯

市民の安心、安全を実現させていくのが議会の役割でもあります。防犯灯や防犯カメラの設置、今後予想される地震に備え、ゆれやすさ防災マップの作成や自主防災組織の結成など、行政と地域が連携して取り組んでいます。

総務常任委員会

委員長/杉森 弘之 副委員長/遠藤 憲子
委員/中根 利兵衛・山越 守・尾野 政子・小松崎 伸・守屋 常雄・伊藤 裕

牛久市の公共交通の種類

Table with 2 columns: 種類 (Type) and 概要 (Overview). Rows include 鉄道 (Railway), 路線バス (Route Bus), かつば号 (Katsuba), かつば号通勤ライナー (Katsuba Commuter Liner), 公共交通空白地有償運送 (過疎地有償運送) (Public Transport Blanket Paid Transport (Sparsely Populated Areas Paid Transport)), 福祉有償運送 (Welfare Paid Transport), 牛久第二小学校区 買い物サポート事業 (Niuku Second Elementary School District Shopping Support Project), and タクシー (Taxi).

防犯対策について

防犯灯の設置

- ▶ 市民満足度調査では、「夜間や人通りの少ない地域における安全確保」の要望が一番。
▶ 平成29年度末で9,568基
▶ 平成22年度からLEDに取り換え(10年間リース契約)

Table showing the percentage of municipal contribution to anti-crime lighting electricity costs from Heisei 4 to Heisei 26. It shows a steady increase from 50% to 100%.

- ▶ 年間約160基設置する計画

【質疑応答】

問 防犯カメラの交差点への設置及び台数は。
答 防犯カメラは牛久駅東口、刈谷大橋及びひたち野東交差点に各2台ずつ、ひたち野西1丁目、外3カ所の交差点に各1台ずつ設置しており、全部で10台設置している。

問 公用車へのドライブレコーダーの設置は。
答 ドライブレコーダーは平成24年度から公用車購入の際に設置している。

管財課が所管する78台のうち、24台の公用車に設置している。24台の中でスクールバス3台は設置済みである。その他、各課で所管する公用車もあるが、計画的に設置を進めていく。交通防災課の新規青色パトロールカーには設置している。

平成30年度議会報告会

教育民生常任委員会

【今回のテーマ】

子育て・教育

保育園では、保育士不足による待機児童は43人となっています。議会では平成29年6月に保育士の待遇改善を求める決議を可決、それを受け平成30年から保育士確保のため、処遇改善費補助金として、民間保育園に勤務する常勤保育士、保育教諭に月額1万5千円の補助をしています。

介護予防
平成27年から「介護予防・日常生活支援総合事業」が創設され、市でも介護予防の取り組みが始まっています。

要支援の人たちなどが利用できる訪問型、通所型、生活支援サービス、65歳以上のすべての人が利用できる事業があります。皆さんの地域でも取り組まれているものがありますので、参加してみてください。

教育民生常任委員会

委員長/須藤 京子 副委員長/藤田 尚美
委員/鈴木かずみ・石原 幸雄・柳井 哲也・板倉 香・山本 伸子

子育て・教育

●保育園の整備状況
施設数 公立保育園 4、私立保育園 12、認定こども園 1、小規模保育園 (19名定員) 1

Table showing the number of staff and waiting children in kindergartens by age group (0-5 years old).

牛久市の対応
①保育士確保のための処遇改善
処遇改善費補助金
(民間保育園に勤務する常勤保育士・保育教諭に月額15,000円の補助)
施設運営費における処遇改善
②保育園の各種事業
一時預かり、病後児保育、延長保育、休日保育、子育て支援センター

【質疑応答】

問 待機児童が43人のうち障がい児は何名いるか。
答 保育士不足について牛久市ではどんな処遇改善をしているか。
答 待機児童のうち障がい児については保育士、看護師の確保が大変難しく、潜在的ニーズ把握に至っていない状況である。保育士の処遇改善については、牛久市では民間保育園に勤務する常勤保育士に月額1万5千円を加算している。

問 市内の小中学校の体育館に空調システムがどれだけ完備されているか。牛久一中の体育館の工事はいつ終わるか。工事のため、テニスコートが2面使用できない。
答 市内の小中学校の体育館の空調については未整備。牛久一中の体育館の工事は完了しており、テニスコートは31年1月から使えるようになる。

介護予防

牛久市の高齢化率 27.3%
65歳以上高齢者 23,231人
高齢夫婦のみ世帯 5,099世帯
高齢者単身世帯 2,484世帯 (平成29年度現在)

●新たな流れ
超高齢社会における介護予防の重要性が認識され、平成27年の介護保険改正において、高齢者が「要介護状態にならないように総合的に支援する「介護予防・日常生活支援総合事業」が創設された。

- 参考: 介護認定者数は2,743人
●それまでとどう違うのか
「介護予防・日常生活支援総合事業」には、
「介護予防・生活支援サービス事業」
→要介護認定を受けた人や、基本チェックリストにより生活機能の低下が見られた人が利用できる。
訪問型サービス (シルバー人材センターなども提供)
通所型サービス (地区社協の牛久小学区「サロンとまり木」や牛久二小学区「むつわ」などの新しい取り組み)
生活支援サービス (ボランティアなど)
「一般介護予防事業」→ 65歳以上のすべての人が利用できる。
→楽しくかつば体操、シルバーリハビリ体操、口腔教室、認知症予防教室

産業建設常任委員会

【今回のテーマ】

エスカード牛久ビルの活性化

エスカード牛久ビルの今後の活性化のため、鶴岡市の駅前ビルを視察してきました。

山形県鶴岡市の駅前ビルは昭和62年市街地再開発事業として開業しましたが、平成17年には、民間として入居していたスーパが閉店しました。

その後ビルを管理している第3セクターが終了し、市が順次、ビルの権利を取得し93%が市の所有床となっております。今は公共施設や商工会の会員の店、民間の事務所などが入居して活気を取り戻しています。

観光政策

宮城県亶理町では、町が所有する「わたり鳥の海温泉」を指定管理者が運営し、観光政策の目玉としています。インバウンドの取り組みなども参考に、議会として市の観光政策に活かすような提言、提案をしていきたいと考えます。

産業建設常任委員会

委員長/市川 圭一 副委員長/利根川 英雄  
委員/黒木 のぶ子・秋山 泉・池辺 己実夫・長田 麻美・甲斐 徳之助

宮城県亶理町の視察

牛久市の観光地の現状は・・・

- ▶牛久シャトー、牛久大仏、小川手銭記念館、牛久沼などある程度の観光客は来ているが、市の活性化からすると不十分
- ▶日本人観光客はもとより、外国人観光客の積極的誘致を
- ▶その他

亶理町の取り組み

- ▶観光政策
- ▶インバウンド(訪日外国人旅行者)の取り組み
- ▶観光地域づくり推進法人設立
- ▶町所有の『わたり温泉鳥の海』を指定管理者で運営



【質疑応答】

**問** 視察研修をしてその結果、委員会として牛久市に対してどういうことをするのか。

**答** 鶴岡市の駅前ビルの活性化については民間との協力、亶理町については観光の取り組みについて視察した中で、近隣市町村と協力をしながらの観光客誘致等、牛久市の活性化について提案をしていく。

**問** 牛久シャトーの問題もそうだが、全てにスピード感を持って対応し、市民が安心できるように施策を、早急に対応してほしい。

**答** 委員会としてスピード感を持って市のほうに積極的に提案をし、解決できるように力を尽くしていく。

市街地再開発事業の経緯(鶴岡駅前地区)

年	経緯
昭和57～62年	市街地再開発事業 ・市施行(マリカ東館・西館)(駅前広場・地下道・自転車駐車場) ・民間施行(ジャスコ鶴岡店A棟・パークビルB棟)
平成17年	ジャスコ鶴岡店閉店 パークビル権利取得、市営マリカ駐車場として運営
平成18年	ジャスコ鶴岡店解体 ※現在に至るまで更地、土地は鶴岡市開発公社が権利取得
平成19年	マリカ東館店舗閉店 第三セクター鶴岡再開発ビル株式会社の会社清算の終了
平成21年	マリカ東館3階 ・庄内産業振興センター整備(市1055.67㎡) ・子育て広場まんまルーム整備(市374.61㎡)
平成23年	マリカ東館2階 ・鶴岡市教育相談センター整備(市541.39㎡)
平成29年7月	マリカ東館1階 ・食文化情報発信拠点施設FOODEVER整備(市211.70㎡、民間1481.00㎡)

平成30年度議会報告会

【フリートーク】

**問** 早朝に駅までタクシーを利用しようとしたら断られた。5人に1人が75歳以上になろうとしているのに、車の免許を返上しても交通機関の問題が心配。また、岡見地区はひたち野うしくへ行く交通手段がないので、改善してほしい。

**答** 対応できない時間帯、対応が難しい地域の問題をどう考えていくか、デマンド交通というのも一つの方法として検討していく課題である。

**問** 高齢者が病院に行くときのタクシーの利用に対して、水戸市では迎車料金を無料にするという取り組みがある。牛久市も議会でのような制度を要望して予算化していただきたい。

**答** 病院への迎車料だけでなく買物での要望もある。一つひとつ具体的に公共交通の問題として、解決していきたい。

**問** 私が把握しているところでは待機児童が102人、内、障がい児が11人であるという状況があり、障がい児対策を平成31年度予算化してほしい。

**答** 障がいのあるお子さんの保育に対しては大きな予算が必要となるが、議会としてどのように対応していくか、常任委員会の中でもきちんと協議し、要望に応えられるよう取り組んでいく。

**問** 東海第二原発の再稼働に対して、議会として特別決議をするとか意見、態度を表明するとかの考えはあるか。

**答** 原発に関する意見書等はこれまで3回出しており、原発問題は、慎重に考えていきたい。



# 常任委員会の報告

## 総務

人事院勧告による特別職、市職員給与の改正

**(問)** 市長、副市長、教育長、市職員の給与が改正されるが、議員も該当するののか。影響額はどれくらいか。

**(答)** 特別職、議員、一般職、再任用職員も該当する。時間外手当の差額分も含め、約1325万円の増額を見込んでいる。

企業等の設備投資、太陽光発電設備の新設により、固定資産税が増額

**(問)** 固定資産税が約9000万円増額の内容は。

**(答)** 桂工業団地企業、奥原工業団地企業、既設の大型企業、医療法人の設備投資。また、太陽光発電では奥野地区で大規模な設備投資ほか、大



市役所2階 パスポート発行窓口

規模企業等の屋根に太陽光パネルの設置などで償却資産が増加したもの。

パスポート発行が増加

**(問)** 交付件数の実績は。

**(答)** 過去3年間の実績として、平成27年2540件、平成28年2720件、平成29年2772件。

公用車での交通事故に伴う損害賠償額を定めるもの

損害賠償額を定めるもの

**(問)** 全額保険での対応で、当事者と示談が整い、損害賠償額を定めるものだが、示談まで時間がかかった理由は。

**(答)** 後遺障害の等級が確定した後に示談交渉となったために時間がかかった。



## 教育民生



牛久運動公園プール

小学生通学用ヘルメット導入

**(問)** 導入の背景は。

**(答)** 県からヘルメット着用促進の依頼があり、また大阪北部地震でのブロック塀倒壊による児童の死亡事故発生後の通学路の安全点検結果、市内児童の交通事故による被害発生など種々の状況により、徒歩通学児童ヘルメット着用の判断をした。先行自治体でも導入時には反発もあったが、1〜2カ月で反対意見はなくなった。

**(問)** 学校、保護者への説明は。

**(答)** 校長会で説明し、保護者には市内全校のPTA役員との会合時に説明した。その中ではいずれも反対の意見はなかった。

**(問)** 県内の導入状況は。

**(答)** 導入しているのは11市町村であり、その内、全域の

学校で導入しているのは7市町村である。その内、那珂市が半額補助、五霞町が500円補助、その他が全額補助となっている。

牛久運動公園プールのドーム上屋の解体費

**(問)** 工事費6660万円の積算は。

**(答)** アーチ状の屋根を下のを壊さないで行う工法を考えており、入札は31年1月中旬に一般競争入札で実施していきたい。

**(問)** 中学校の水泳授業への影響は。

**(答)** 県の基準は天候等を考慮し、時間数には幅があり解体後に屋外プールとなっても、通常学校プールは屋外が多いことから影響は出ない。

市立第一幼稚園の移転新築及び定員数変更

**(問)** 公立の幼稚園の定員数は。

**(答)** 第一、第二幼稚園とも70人ずつで、合計140人となっている。

**(問)** 移転したあとの教室の利用は。

**(答)** 黒板とロッカーが備え付けられているので、そのまま中根小学校の教室として使う。

**(問)** 第一、第二の職員体制は。

**(答)** 正規職員が第一、第二で2人ずつ計4人、非常勤職員が第一で3人、第二で4人となっている。

## 産業建設

企業誘致事業等推進基金の今後展開

**(問)** 企業誘致事業の今後の展開は。

**(答)** 都内などの展示会でのPR、進出企業へのフォローアップなど新たな企業を呼び込むことに繋がると考えている。

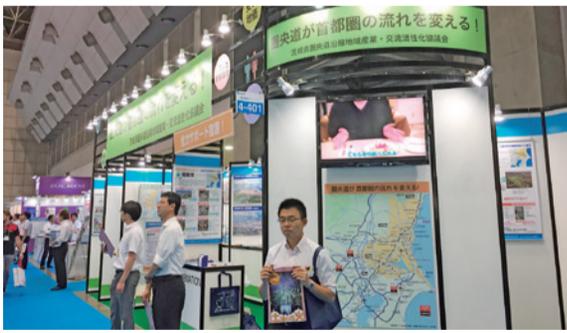
**(問)** 推進のメリットは。

**(答)** 奨励金があることにより、企業進出・設備投資が進み、固定資産税、都市計画税は5年前との比較で約3億2千万円の増収。

農地土地改良事業の現状

**(問)** 土地改良事業の分担金徴収の現状は。

**(答)** 高齢等の理由から耕作地を担い手に委託している農地所有者が分担金を支払えないケースがある。土地改良区でも苦慮している。今後の問



国際物流総合展2018(2018年9月11日～14日開催)

題として捉えている。

所有者不在の空き家2物件、解体撤去費用計上

**(問)** 特定空き家の件数は。

**(答)** 認定しているのが10物件。所有者が存在しているのが8物件。不在は2物件。特定空き家物件は増えていくと予想する。

GPP事業国庫補助金1267万円を国に返還

**(問)** GPP事業による太陽光発電と蓄電池設置の補助金返還について、環境省の見解と会計検査院の指摘による相違点は。

**(答)** ほとんど使用されていない蓄電池があるとの指摘があり、最終的には認められないと判断された。環境省から遺憾であるとのコメントが出されているが、市では会計検査院による指摘を真摯に受けとめ、国に補助金を返還することとした。

※GPP事業とは、地域における低炭素地域づくりのための事業化計画の策定・実現可能性に係る調査事業及び再生可能エネルギー、省エネルギー、省エネルギー設備の導入事業に対し補助金を交付する事業を支援することで、低炭素地域づくりを促進し、もって地球環境の保全に資することを目的とした環境省の事業をいう。

石原幸雄議員



### 小中合同大運動会の実施

#### 実施

**(質問)** 奥野小学校と牛久二中とは2020年度に小中一貫校の形態である義務教育学校となるが、その際は小中合同大運動会を実施すべきと思慮する。なお、合同での実施に際しては、小学生と中

学生との体力差を考慮し、午前を小学生の部、午後を中学生の部とする等、一定の配慮の下に実施すべきと考えるがどうか。

**(教育長)**

両校の義務教育学校化に伴い、合同運動会の実施に向けて開催方法を検討していく。

#### 千葉茨城道路線の公表

**(質問)** 県道電ヶ崎阿見線のバイパスと位置

千葉茨城道路線の公表を積極的に行うべきと



うしくあみ斎場付近の現状

付けられている千葉茨城道路線は、うしくあみ斎場付近から電ヶ崎市八代地区間が不通であり、路線の公表も行われていない。理由の一つはオオタカの生熊調査のためとのことであるが、その調査も平成30年度で終了すると聞いている。故に本市から茨城県に対して、地域住民の関心が極めて高い当該道路の路線の公表を積極的に働きかけるべきと

考えるがどうか。

**(建設部次長)** 当該道路線の公表については、2019年度中の公表に向けて茨城県に働きかけをしていく。

### 牛久シャトー施設内の飲食、物販事業の撤退

**(質問)** 観光政策に影響は。市観光資源の観光資

**(質問)** 事前に状況の把握はなされていたか。**(環境経済部長)** 牛久市に対して事前に相談や情報はなく、突然の決定に驚きとともに受け入れ難い思いである。

**(質問)** 年間約40万人が訪れる観光拠点だが

源の喪失であり、大きな打撃となることは間違いない。**(質問)** 神谷傳兵衛記念館とオエノンミュージアムだけは引き続き公開することだが、飲食、物販スペースの活用は。

**(質問)** 年間約40万人が訪れる観光拠点だが

**(答弁)** オエノン側に事業の継続を求めているが、叶わない場合、市が積極的に関わるこ

とができるように交渉する考えである。**(質問)** 重要文化財の管理、活用は。

**(答弁)** 平成23年の東日本大震災による復興工事においては、国、県、市合わせて約14億5千万円の補助をしている。活用については、コンサート、展示会等実施してきた。

**(質問)** 日本遺産の再申請は、今後どうするのか。

**(市長)** 山梨



牛久シャトー

## 市政に対する一般質問

秋山泉議員



### 牛久市第3次環境基本計画

#### 環境基本計画

**(質問)** 平成30年の狂犬病予防接種率は。

**(環境経済部次長)** 30年11月15日現在で、登録頭数が4670頭。うち接種済の頭数は3050頭で接種率は65.3%。未接種に対して、依頼通知を再度送

**(質問)** ごみのリサイクル率について伺う。

**(環境経済部次長)** 平成27年度19.0%、28年度18.8%、29年度18.0%と少しずつ減る傾向にある。これは紙媒体から電子媒体にシフトしているため、

付した。これからも広報紙やホームページによる周知、イベントでの啓発を行い、目標値80%を達成できるように強化していく。

**(質問)** 防災手帳を作成していない理由は。

**(市民部次長)** 「牛久市暮らしの便利帳」の中で、避難所マップや地

新聞、雑誌が平成27年度2429トンであったものが29年度は2096トンと大きく減少したことによる。

**(質問)** こども用防災手帳の効果と作成については。

**(答弁)** 災害対策の視点としては一定の効果があると考えられるが、市独自のものを作成する考えはない。



牛久市暮らしの便利帳

### 保育士不足解消と非正規保育士賃金問題の対策

原因は84人が受け皿不足、46人が保育士不足

**(質問)** 保育士不足の原因で0歳児〜2歳児の待機児童が出ているが対策を問う。**(保健福祉部長)** 12月1日現在の待機児童は全体人数が130人で0歳児62人、1歳児29人、2歳児36人の状況。

**(質問)** 31年度からは保育園も増えるとのことだが、それ

で待機児童問題は解消されるのか。

**(答弁)** 30年度にフレンド幼稚園が認定保育

園にリニューアルされて合計78人の拡大が可能になり、せいけい保育園で19人が増員となるので待機児童は減少すると思う

が、解消までには至っていない。



の保育士確保を促して受け入れ態勢を指導していきたい。

山本伸子議員



### 自然豊かな牛久沼周辺の景観を守るために

**(質問)** 城中町から新地町にかけて国道6号バイパスが事業化されている。自然景観との調和等を懸念するが、**(建設部次長)** 平成30年度は稲荷川沿いの3キロメートル区間の測量や地質調査が始まる

**(質問)** 城の中町から新地町にかけて国道6号バイパスが事業化されている。自然景観との調和等を懸念するが、**(建設部次長)** 平成30年度は稲荷川沿いの3キロメートル区間の測量や地質調査が始まる

が、バイパスの建設については景観に配慮し事業を推進してもらおうと要望している。

**(質問)** あちらこちらで太陽光パネルの設置

が見受けられるが、市として事業者への指導はどうしているか。

**(答弁)** 県のガイドラインに基づき、関連する法令を確認し、地域の方に理解を得たうえでトラブルのないよう指導していく。

**(質問)** エスカレーターに図書館分館を設置しては。

**(教育委員会次長)** エスカレーター活性化の中核施設として図書館の設置の意思表示を関係部局にしている。



新地町から牛久沼を望む雄大な風景

**(質問)** 中央図書館の閉館時間は夜9時となっているが、近隣と比較しても長く、県内で一番長い開館時間となっている。図書館で働く人たちの働き方改革の観点からも一考

が必要では。

**(答弁)** 利用者の意見や利用状況、費用対効果から、これからの図書館のあり方についても検討していく必要があると考える。

### 牛久シャトー支援対策

**(質問)** オエノンホールディングス取締役役会の飲食及び物販事業からの撤退表明に対し、牛久市として早急な対応が必要と思われるが、**(環境経済部長)** 現在オエノン側とのトップ

会談に向け調整を行っている

ているところであり、牛久シャトーの継続的な営業活動を維持でき

るよう、あらゆる手段と方法を排除せず検討し、オエノン側に要望していき

**(質問)** 歴史的文化遺産を保存するだけでなく、中長期計画を策定し、お土産店やカフェ

などが集積する牛久シャトー門前通り商店街を段階的に進めてはどうか。

**(答弁)** 中

柳井哲也議員



**(質問)** オエノンホールディングス取締役役会の飲食及び物販事業からの撤退表明に対し、牛久市として早急な対応が必要と思われるが、**(環境経済部長)** 現在オエノン側とのトップ

会談に向け調整を行っている

ているところであり、牛久シャトーの継続的な営業活動を維持でき

るよう、あらゆる手段と方法を排除せず検討し、オエノン側に要望していき

**(質問)** 歴史的文化遺産を保存するだけでなく、中長期計画を策定し、お土産店やカフェ

などが集積する牛久シャトー門前通り商店街を段階的に進めてはどうか。

**(答弁)** 中



牛久シャトー

## 市政に対する一般質問

池辺己実夫議員



### 本市を取り巻く公共交通の現状と今後の展望

**(質問)** 市独自の公共交通の取り組みの現状は。

**(経営企画部次長)** 30年11月から岡田小学校区地区社会福祉協議会によるボランティア移送サービスが開始されている。また、公共交通

の取り組みは、**(答弁)** コミュニティバスの導入は、路線バスが運行されていない

市街化区域及び郊外団地内の人口密度の高い地域で検討することから、ひたち野うしく地区へのかつば号ルート新設を検討している。

**(質問)** 広域連携の今後の取り組みは。

**(市長)** 稲敷エリア広域バスについては、平成29年2月から実証運行を経て現在に至っているが、平成31年度は、美浦・龍ヶ崎ルートと江戸崎・阿見ルートの運行終了が決まっている。このような中で、江戸崎・牛久ルートの運行継続について稲敷市と協議中であり、今後も継続に向けた検討



を行っていききたい。

### 風疹や結核の感染症への対応

#### 感染症への対応

**(質問)** 風疹の感染拡大で罹患者数は昨年度比で22倍という。牛久市の風疹の予防接種率と感染者増加の理由は。また、結核の患者も増加している。牛久市の患者数と世代は。

**(保健福祉部次長)** 集団発生を予防するため、市は目標接種率を95%としている。感染者増加の理由は、定期接種の対象とならなかった世代の発症である。結核については、平成29年の市の新規患者数は15人で60歳以上が8割と

なっている。

**(質問)** 風疹と結核の市の感染対策及び予防啓発への取り組みは。

**(市長)** 風

#### 水道水の安全性

**(質問)** 現代文明がもたらす合成化学物質の大量生産大量消費により水道水の水質の汚染が危惧される。湯水時に大量投入される塩素等でトリハロメタンの発生のような水質汚濁成分の基準値等の設定については。

**(環境経済部次長)** これまで平成16年の大幅改正、6回の一部改正



により、水質基準値がより厳しい設定となり、安全である。

須藤京子議員



### 審議会等委員の選任の 全庁的な見直しを

(質問) 審議会等委員

は、市政に市民の声を活かす場として有用だが、1人が複数兼任したり、長期在任したりしている。現状は、(総務部次長) 全委員450人中の16・2%が複数兼任、10年以上

在任は9・6%である。(質問) 若者・女性・公募等で多様な市民の参画を促進すべきだが、委員選任を担当課だけで見直すのはなかなか

については、兼任数、在職期間の制限等を盛り込んだ指針の策定を検討し、年齢層、女性の登用、公募等を併せて検討し、市民との協働のまちづくりを進めていく。



教育民生常任委員長が会長を務める通学区域審議会 (平成29年)

### 市役所での障がい者 雇用の拡大を

(質問) 平成33年の障がい者法定雇用率の改正への対応は。また非常勤職員の雇用も含め拡大を図るべきだが。

(市長) 雇用拡大について、平成33年以降も見据え、計画的継続的に募集していく。非常勤職員についても任用を行っていく。

### 掲載以外の質問項目

○子どもの感性を育てる文化芸術振興策

### 主権者意識向上へ

(質問) 若い世代の関心が低い。これまで、どのようにしてきたか。

(教育長) 国会見学や子ども議会など行っている。主権が一人ひとりにあると自覚できていない。また大人の政治への無関心も要因で

ある。学校の授業をきっかけに家庭との連携を深めていく。

(質問) 18歳まで選挙権が拡大されたが、対象世代にどう意識づけているか。

(総務部次長) チラシ配布や出前講座などの啓発活動を行っている。(質問) 全体の投票率も低いが対策は。

(答弁) 期日前や不在者投票、又投票所入場券を郵送など。

甲斐徳之助議員



(質問) 会場等の防犯対策や駐車場は。予告看板や誘導看板の設置。

(教育部長) 予告看板や誘導看板の設置。駐車場や駅からシャトルバス運行を行う。(質問) 空手道会場は新設武道館ではなく

### 国民体育大会の 盛会にむけて

(質問) 会場等の防犯対策や駐車場は。

(教育部長) 予告看板や誘導看板の設置。駐車場や駅からシャトルバス運行を行う。(質問) 空手道会場は新設武道館ではなく

### 掲載以外の質問項目

○振り込め詐欺対策

## 市政に対する一般質問

杉森弘之議員



### 市長公約の進捗状況

(質問) 3年前の市長選で根本市長が掲げた

①ひたち野地区に中学校新設②ブラック市政の改革③市政の私物化の排除等の公約の進捗状況を聞く。(教育部長) 中学校建設は平成32年1月の竣

工を予定。それ以外の学校施設関係事業は、長寿命化計画等に基づき着実に実施していく。(経営企画部次長) 中学校建設による起債総額

もできる限り出席し、職員組合との団体交渉を誠実にやりたい。(総務部次長) 工事等の入札や契約については、関係法令等を遵守すると共に、市民から疑いをもたれることのないよう努めたい。



平成30年11月末現在のひたち野うしく中学校の工事状況

### 鎌倉街道イーグルポイント 交差点へ信号機を

(質問) 信号機設置のための交差点改良の進捗状況はどうか。

(建設部次長) 31年度牛久市で用地取得を行い、その後阿見町で交差点改良工事を実施し、信号機設置の基準を満たす形状にしていく。

男性もおむつ換えができる環境整備を

(質問) 「利用した子育て広場の男性トイレには、おむつ換えの場がなく戸惑ってしまった」との声が寄せられている。当面の対応と今後の環境整備について伺う。

空き家を活用し、「おくのキャンパス」の更なる発展を

(質問) 空き家率などを基にモデル地区を選定し、空き家を活用する子育て世帯への助成を導入してはどうか。(建設部次長) 「牛久市空き家等対策計画」では重点地区を定め対策を実施することができるとあることから、

尾野政子議員



(経営企画部次長) 当面は広場の職員からも受付の際、

直接声掛けをし、おむつ換えの場を提供していく。また施設の新設、改修の際は、利用者の利便性の向上のため、おむつ交換台の設置についても配慮していく。



地域交流の一つの「おくのふれあいまつり」

関係部署と協議・検討していく。

### 掲載以外の質問項目

○通学時の荷物軽減を  
○リフレビル駐車場の活用

掲載以外の質問項目  
○駅前へのムクドリ  
○東海第2原発の再稼働の危険性

(環境経済部長) 減免の範囲は重要文化財のみ、事業は直営である。



長田麻美議員



市民が常時  
使用し易い  
AEDの  
設置を  
(質問) 急

(質問) 今後、市とオ  
エノンホールディング  
スの連携強化が重要。  
牛久シャトーの観光拠  
点化と若者の仕事づく  
りを主とした観光客と  
飲食・物販売上の増加  
を指標にして、地方創  
生推進交付金等、国が

(環境経済部長) 市単  
独の取り組みではなく、  
県や国を巻き込んだ取  
り組みが重要である。  
交付金の活用について  
は今後の交渉の経過を  
注視しつつ、あらゆる  
可能性を模索しながら、  
選択肢のひとつとして  
検討してい  
きたい。

市民が常時  
使用し易い  
AEDの  
設置を  
(質問) 急  
と新たに建設



AED

掲載以外の質問項目  
○ごみ処理の有料化

### 牛久シャトー観光拠点化で 国との連携強化を

らの支援を  
活用すべき  
だと考え  
がいかか

な心肺停止事例の多い、  
部活動時などで使用し  
やすいよう、体育館、  
校庭への増設の考えは、  
(市民部次長) 命を救  
う非常に重要な役割を  
担っているため、なる  
べく多くの場  
所への設置が  
必要であると  
認識している  
が、耐用年数  
の7年間で1  
台当たり24万  
円と多大なコ  
ストがかかる  
現実もある。  
現在のところ、  
設置済みの1  
47台の維持

される施設に対しての  
設置について適宜増設  
していく計画である。

伊藤裕一議員



地区内の公  
共施設や商  
業施設へア  
クセスでき  
るよう考え  
ている。

利用者数を誇る。  
このルートを新  
ルートと接続し  
て、利便性の向上  
を図りたい。

### ひたち野地区へ かつば号新ルート

(質問) 検討されてい  
る、かつば号ひたち野  
うしく新ルートの概要  
は。

(市長) 開設時期につ  
いては検討中。ルート  
の選定に当たっては、  
ひたち野うしく地区の  
東西を結ぶものとし、

久地区とのアクセス向  
上を求める声もある。  
新ルートの時刻を調整  
し、現行の運動公園  
ルートとの接続を図っ  
ては。

会以来、会議は開催さ  
れていない。マイナ  
ンカードは普及して  
いないのが現状。引き  
続き研究を行ってい  
きたい。



かつば号

## 委員会の視察研修報告

### 総務常任委員会

兵庫県篠山市  
独自の「原発災害にた  
くましく備えよう」ハ  
ンドブック作成

篠山市は高浜原発から  
56キロメートルに位置し、  
福島原発事故から事故は  
起こり得るものとの考え  
に至り、市民の命と安全  
を守るために原子力災害  
対策検討委員会を設けた。  
医師や専門家、市民を交  
えて議論し、可能な事故  
対策の検討を重ねてきた。  
避難計画を策定し、希望  
者への安定ヨウ素剤の事  
前配布を実施している。

市民の意識関心は高く  
「子どもを守るのは大人の  
責任、市は市民を守ろう  
としている」との評価が  
市民から出されたという。  
災害に対する強いまち  
づくりへの意識づけは大  
いに参考になった。



兵庫県伊丹市の市長マ  
ニフェスト進捗状況

総人口が約19万7千人  
で昨年1年間でも自然増  
42人、社会増286人で  
ともに人口が増加。

市長は「住みたいまち  
伊丹の実現」のため、あ  
らゆる世代が安心して暮  
らせるまちへの課題認識  
と市政運営の基本方針を



掲げ、着実に推進、実現  
を目指すとしている。

①学校教育の充実、子  
育て支援の推進②地域医  
療の整備、安心できる福  
祉の実現③地域産業の振  
興、にぎわいのあるまち  
づくりを推進④防災・防  
犯のさらなる充実⑤環境  
政策、都市環境の整備を  
推進⑥参画と協働、行財  
政改革の推進である。

それぞれに具体的なマ  
ニフェスト実施項目を掲  
げ、進捗を管理している。  
どこまで進んでいるか、  
取り組んだ結果、「実施  
済み」もしくは「達成済  
み」かを数値で表し、「検  
討中」「準備中」もホー  
ムページで公表している。  
市民にわかりやすいと好  
評である。

掲げた公約の公表を積  
極的に行うことで、将来  
にわたり「選ばれたまち」  
として進化し続け、人口  
減少時代に適応した「ま  
ちづくり・人づくり」を  
大切にしていくことは牛  
久市も同様で参考になっ  
た。

### 交通体系整備促進調査特別委員会

近江八幡市の市民バス  
「あかこんバス」

平成18年から市民バ  
スの事業が検討され、  
平成20年に3路線で開  
始、その後13路線に拡  
大し市民の足となっ  
ている。運賃は200円  
区間均一で、車両はマ  
イクロバスとワンボッ  
クスカーで運用してい  
るが、路線によっては  
定員超過があり今後大  
型バス化が課題だとい  
う。

教育委員会と連携し、  
遠距離通学の小中学生  
に無料で利用できるよ  
うにし、学区自治連合  
会からの要望などもと  
りまとめて、バス停の  
新設やダイヤ改正など  
を細かく行っており、  
その取り組みはたいへ  
ん参考となった。



豊田市の交通まちづく  
り「かしい公共交通」  
を目指して  
豊田市の交通まちづく



くりのビジョンは、基  
盤となる「環境」「安全・  
安心」と、柱となる「交  
流促進」「移動円滑化」  
を4つの基本目標とし、  
人々の暮らしやすさと  
まちの魅力・活気・交  
流を高めている。

市内外の主要拠点を  
連絡し基幹的公共交通  
となる鉄道に加え、鉄  
道を補完し市内外の主  
要拠点を連絡する基幹  
バス、コミュニティ内  
の運行と交通結節点に  
連絡する地域バスが公  
共交通ネットワークの  
基本骨格として整備さ  
れていた。

クルマのまち、もの  
づくりのまちとしての  
強みには適わないが、  
計画の新たな評価シス  
テムの導入やサービ  
スレベルの基準の設定  
などが参考となった。